

第11回 分離技術国際会議

ICSST17 The 11th International Conference on Separation Science and Technology

—開催のご案内と論文の募集—

会 期：2017年11月9日(木)～11月11日(土)

会 場：韓国・釜山 海雲台(ヘウンデ)グランドホテル(Haeundae Grand Hotel)

共 催：分離技術会・韓国化学工学会

協 賛：化学工学会・高分子学会・日本吸着学会・日本海水学会・日本熱物性学会・
日本プロセス化学会・日本膜学会・日本溶媒抽出学会(予定)

重要な日程

☆ 分離技術会ホームページ <http://www.sspej.gr.jp> にて発表募集受付中 ☆

※Webの申し込みサイトが立ち上がるまで、メールで受け付けします

~~2017年6月末日~~ 2017年7月24日(月) 発表申込〆切(延長)

2017年7月末日 Abstract 提出締め切り

2017年8月末日 参加事前登録締め切り

分 離 技 術 会

The Society of Separation Process Engineers, Japan

214-0034 神奈川県川崎市多摩区三田 1-12-5-135

TEL 044-935-2578 FAX 044-935-2571

E-mail address: jimu@sspej.gr.jp

Home Page: <http://www.sspej.gr.jp>

第11回分離技術国際会議のご案内

実行委員会 委員長 森 秀樹

日本と韓国の分離技術に関する研究者が、相互の研究の発展と交流を深めることを目的として、日本側は分離技術会、韓国側は韓国化学工学会の共催で、1987年に第1回日韓合同分離技術シンポジウムが開催されました。第1回シンポジウムは韓国の慶州で開かれ、蒸留、晶析、吸着および固液分離の4つのセッションで約100件の論文発表がありました。その後、3年おきに日韓合同分離技術シンポジウムを開催することが決定され、分野も吸収、抽出、膜分離および相平衡のセッションを加えて8セッションに拡大されて、第2回シンポジウム(1990年)、第3回シンポジウム(1993年)がソウルで開催されました。初めて日本で開催されたのが第4回シンポジウム(1996年)であり、東京(早稲田大学)が会場でした。

「日韓合同分離技術シンポジウム」としてスタートした本会議は、第7回(2005年)の日韓実行委員長によって、日本と韓国の研究者・技術者による交流の場にとどまることなく、よりグローバルな国際会議に発展させたいという提案がなされ、会議名を「日韓合同分離技術国際会議」と改められました。第8回(2008年)の学会開催にあたっては、日韓の委員の間ではさらに名称について検討され、「分離技術国際会議」と改名されております。また、これまで分離技術にかかわる8つのセッションを設けておりましたが、社会のニーズに応えるべく、新たに応用分野のセッションを設けました。第9回(2011年)は開催地もソウルから韓国を代表するリゾート地「済州島」へと場所を変え、充実した国際会議を開催しました。第10回(2014年)は開催地を日本を代表する奈良へと場所を変え、これまでとは異なった雰囲気でも、充実した国際会議が開催されました。今回は、朝鮮半島南東端に位置し、韓国の主要都市中で最も日本の近くに位置する韓国の釜山で開催することになりました。以下にその概要をご案内いたしますので、多くの皆様のご発表ならびにご参加をお待ち申し上げます。

なお、研究発表および参加をご希望される方は分離技術会のホームページよりWeb siteにてお申し込み下さい。

2017年1月

【分離技術国際会議これまでの歩み】

1987年	第1回日韓合同分離技術シンポジウム	韓国・慶州
1990年	第2回日韓合同分離技術シンポジウム	韓国・ソウル
1993年	第3回日韓合同分離技術シンポジウム	韓国・ソウル
1996年	第4回日韓合同分離技術シンポジウム	日本・東京
1999年	第5回日韓合同分離技術シンポジウム	韓国・ソウル
2002年	第6回日韓合同分離技術シンポジウム	日本・東京
2005年	第7回日韓合同分離技術国際会議	韓国・栄州
2008年	第8回分離技術国際会議	日本・軽井沢
2011年	第9回分離技術国際会議	韓国・済州島
2014年	第10回分離技術国際会議	日本・奈良

【第11回分離技術国際会議日程(予定)】

11月9日(木)	14:00-18:00	Registration
	18:00-19:00	Chairmen's Meeting
	19:00-20:30	Welcome Reception
11月10日(金)	9:00-9:30	Opening Ceremony
	9:30-11:45	Plenary Lecture
	14:00-17:00	Oral and Poster
	18:00-20:00	Banquet
11月11日(土)	9:00-12:00	Oral and Poster
	12:00-	Wrap-up

【実行委員会 委員長】

森 秀樹 (名古屋工業大学, mori.hideki@nitech.ac.jp)

【プログラム委員会 委員長】

後藤元信 (名古屋大学, mgoto@nuce.nagoya-u.ac.jp)

滝山博志 (東京農工大学, htakiyam@cc.tuat.ac.jp)

【セッション・オーガナイザ】

A : Phase Equilibria/Transport Properties :

* 岩井芳夫 (九州大学, iwai@chem-eng.kyushu-u.ac.jp)

* 猪股 宏 (東北大学, inomata@scf.che.tohoku.ac.jp)

B : Distillation/Absorption :

* 後藤和也 (RITE, goto.ka@rite.or.jp)

* 佐々木正和 (東洋エンジニアリング, masakazu.sasaki@toyo-eng.com)

C : Crystallization

* 前田光治 (兵庫県立大学, maeda@eng.u-hyogo.ac.jp)

D : Adsorption/Chromatography/Ion Exchange

* 児玉昭雄 (金沢大学, akodama@se.kanazawa-u.ac.jp)

* 余語克則 (RITE, yogo@rite.or.jp)

E : Membrane Separation/Fluid-solid Separation :

* 岩田政司 (大阪府立大学, iwata@chemeng.osakafu-u.ac.jp)

* 吉岡朋久 (神戸大学, tom@opal.kobe-u.ac.jp)

F : Extraction/Supercritical Fluid Technology

* 佐古 猛 (静岡大学, ttsako@ipc.shizuoka.ac.jp)

* 二井 晋 (鹿児島大学, niisus@cen.kagoshima-u.ac.jp)

G : New or Hybrid Separation Process & Materials

* 馬越 大 (大阪大学, Hiroshi.Umakoshi@cheng.es.osaka-u.ac.jp)

* 山口猛央 (東京工業大学, yamag@res.titech.ac.jp)

(今回, Baioseparation に関する発表は, 関連するセッションに含めることになりました)

【発表方法および使用言語】

◇発表は口頭またはポスター

◇使用言語: 英語

【募集論文の内容】

◇各種分離技術および応用分野に関するオリジナルな論文あるいはデータ

◇新技術や新プロセスの開発に関する未完あるいは萌芽的な研究・アイデア

◇企業における環境調和型プロセスの構築, 省エネルギー, 省資源化, 操作の効率化などを目的とした製造技術の改良や開発

◇その他, 既存技術のビジネスに関するものや, 既報の論文をまとめなおした研究報告など

【参加費】

(8月31日までの申込みの場合)

○本会正会員および法人会員: 40,000円

○協賛団体会員: 40,000円

○学生: 25,000円

○同伴者: 15,000円

○会員外: 50,000円

○同時入会: 45,000円 (分離技術会 平成29年度会費を含む)

(9月1日以降の申込みの場合)

○本会正会員および法人会員: 45,000円

○協賛団体会員: 45,000円

○学生: 30,000円

○同伴者: 20,000円

○会員外: 55,000円

○同時入会: 50,000円 (分離技術会 平成29年度会費を含む)

※なお, 発表申し込み後, 後日ご案内予定の参加申し込みを別途お願いいたします. 参加費はその際, 指定口座に前納にてお振込みをお願い申し上げます.

【発表論文の申し込み方法】

分離技術会ホームページをご覧の上, 画面上の申し込み方法に沿って手続きをお願いいたします.

Home Page : <http://www.sspej.gr.jp>

第 11 回分離技術国際会議 論文発表申込書

(1 件につき 1 枚使用して、Word ファイルをメールに添付して下記宛送付ください)

－2017年7月24日(月)締め切り(延長)－

氏 名		会員資格	
所 属			
	指導教員名 (学生会員の場合)		
連 絡 先 (郵送)	〒		
TEL		FAX	
e-mail			

① 論文題名(英文・必須) : _____

共著者(英文・必須) : _____

発表者の名前の右肩に()を記入し、所属は番号で区別してください。

所属(英文・必須) : _____

② 発表セッション(必須) : _____

(第2希望) : _____

③ 発表形式(必須) : 口頭発表 ポスター どちらでもよい

④ 連名者の確認(チェックを入れてください)

この申込は発表者全員の同意を得ています

分 離 技 術 会

214-0034 神奈川県川崎市多摩区三田 1-12-5-135

TEL 044-935-2578 FAX 044-935-2571

E-mail : jim@sspej.gr.jp HP : <http://www.sspej.gr.jp>



第 11 回分離技術国際会議 参加申込書

(1 件につき 1 枚使用して、Word ファイルをメールに添付して下記宛送付ください)
— 早期申し込み 2017 年 8 月 31 日まで —

氏 名		同：英文表記	
所 属 (同：英文表記)			
連 絡 先 (郵送)	〒		
TEL		FAX	
e-mail			

☆該当する個所に☑印をつけ、必要個所にご記入ください。

○参加資格および参加費 (8 月 31 日まで)

本会正会員および法人会員 (40,000 円)

協賛団体会員 (40,000 円) 協賛団体名：_____

学生 (25,000 円)

同伴者 (15,000 円)

会員外 (50,000 円)

同時入会 (45,000 円) (分離技術会 平成 29 年度会費を含む)

○参加費支払方法

郵便振替：00100-9-21052 口座名 分離技術会

みずほ銀行：神田支店 普通預金 1010899 口座名 分離技術会

*8 月 31 日までに、お振込み願います。

分 離 技 術 会

214-0034 神奈川県川崎市多摩区三田 1-12-5-135

TEL 044-935-2578 FAX 044-935-2571

E-mail : jim@sspej.gr.jp HP : <http://www.sspej.gr.jp>

